

# 第7回小樽市民の歯科口腔保健を考える会 議事録

## 【要 旨】

開催日時 平成29年4月25日（火） 午後7時00分から午後8時20分

開催場所 小樽市保健所3階会議室

出席状況 ○小樽市歯科医師会

加藤副会長、渋谷公衆衛生理事

○北海道歯科衛生士会小樽支部

角田支部長

○小樽市保健所

中村主幹、健康増進課柴田課長、藤川主査

以上6名

## 会議要旨

1. 開会
2. 議題

### (1) 「あなたの歯は何本？」事業 受診者アンケート結果

<アンケート結果について>

- ・総数1,888人（有効回答数1,777）と多数の回答が得られた。
- ・回答者は各歯科医院の患者さんであり、歯の大切さについて理解している人が多い。
- ・定期的な健診やプロケアについて、定期的又は不定期に受けている人が62.8%、今後受けようと思う人が34.0%となり、プロケアが望まれていることがわかる。
- ・歯数記入欄に回答があったアンケート448枚の集計結果では、歯数20～27本の者（数本抜歯されている者）が46.9%で、最も多い。
- ・年代別歯数の分布グラフでは、60～80歳代で歯数のばらつきが大きくなるが、30歳代でも歯数のばらつきが始まっていることにも注目したい。

### (2) 「あなたの歯は何本？」事業実施者（歯科医院）アンケート結果

- ・事業協力歯科医院→48施設（79施設中）参加率：約60%
- ・アンケート回収枚数は、59枚（歯科医師17名、歯科衛生士37名、その他5名）
- ・この事業で、リーフレットを説明する負担感は大きいと感じる人が40.7%で最も多い。
- ・負担感が少ないと回答した人が25.4%いることから、負担最高点10点として、負担感の平均点は、5.4点に留まった。
- ・リーフレット内容については、概ね良いという回答が71.2%と好意的であった。
- ・今後も何らかの形で協力できるという回答が多く、今年度も協力を期待できる。
- ・自由記載では、グラフが見づらい、説明しにくいなどが多く見られ、リーフレット作成の際には、説明がなくても理解できるよう留意する必要がある。

### (3) 高校生対象リーフレット配布に向けて・・・4月25日（4校）、5月9日（6校）に配布

### 3. 協議事項

#### (1) 第2回小樽市健口講座について

- ・開催時期は10月という話が前回出ていたが、いい歯の日の関連事業として11月でよいとの意見もあり、講師予定者の都合を確認後、日程を決定する。場所もいなきたコミュニティセンターで行う。
- ・周知については前回同様保健所が行う。

#### (2) 新規リーフレット作成について

- ・平成28年度「あなたの歯は、何本？」事業を通して、歯科医師会の協力を得たからこそ、多くの市民に歯科関係者が直接情報を伝えることができた。
- ・説明を受けた方のアンケートからは、歯を維持していこうという気持ちが高まった(66.8%)、今後プロケアを受けようと思う(34.0%)などの声が聞かれた。
- ・歯科関係者からは、今後も協力できるという回答もいただいている。

以上のことから、今年度もリーフレット作成を行い、広く市民への情報発信に努める。

- ・リーフレットについては、報告事項(2)のとおり事業に協力した歯科医院の意見を取り入れ、歯科医院で配布又は歯科待合室に設置を念頭に作成する。案については、メール等で意見交換する。

### 4. その他・・・歯科医師会が対応している事業についての説明

(1) 後期高齢者の歯科健診の開始時期は9月の予定。問診と歯科健診を行い、治療が必要な場合は後日。オーラルフレイル等については、義歯などにより咀嚼機能を維持することで対応する。

(2) 医科歯科連携については、地域包括ビジョン協議会において、8つの部会のうち3つの部会(情報共有、住民啓発、地域医療介護資源サービス把握)に参加し活動中。

歯科医師会では、医師を講師に招いて勉強会を行っており、最近では医師会と共同して骨粗鬆症の治療薬であるBP製剤についての勉強会を開いた。

(3) 災害対策については、歯科医師会の学術部会が対応し、災害発生時の歯科医院の状況把握や連絡網作成等に取り組んでいる。基幹歯科医院を設け、連絡を取るなどの案もあり、検討中である。

### 5. 閉会

今回の会議は、平成29年6月27日(火)19時より。

渋谷理事は交代、加藤副会長と角田会長は継続して参加予定。